

Title	三田哲學會記事
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	1936
Jtitle	哲學 No.15 (1936. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000015-0232">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000015-0232</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 三田哲學會記事

○昭和十年九月二十五日(水)午後三時銀座交詢社に於て例會

觸空間の實驗現象學的研究……………横山松三郎君

ヴント、テイツチナーの構成主義と對立する意味での實驗現象學的反省に依る、觸空間の分割距離知覺の現象記述の結果——觸空間に於て與へられた形態の外側部は中央に引付けられ、距離は全體として小さく表象されること——を發表せられた。そしてこの謂はば「集中性」に就いての生理學的解釋を試みられた。詳細は日本心理學會發行、「心理學研究」第十卷第五・六號參照。

○同十月二十三日(水)午後三時銀座交詢社に於て例會

個人主義對全體主義……………川合貞一君

先づ個人主義及び全體主義思想の古代、中世、近世に於ける形態を社會哲學的見地の下に具體的に説述し、個人主義思想に於ける人格思想の眞なることを認むるも、それを以て社會を考察するに當り直ちに完成せる個人に出發するの誤りを指摘し、寧ろ、人格完成は社會の本質構造に基く各人の全體への貢獻を通じてのみ實現するとなす全體主義の優越、個人主義より全體主義への轉移並びに今後二十世紀を支配するのは全體主義なることを強調せられた。

○同十一月十四日(木)午後一時本塾大學第一番教室に於て公開講演會

シェーラーに於けるゲマインシャフトの問題……………橋本孝君

シェーラーに於てゲマインシャフトも個的人格と同様、全體人格として、一つの完全なる人格性を有し、しかも兩人格が有限な人格の兩面として何ら矛盾する所がないのは、人格を實體と考へず、精神的な作用中心と考へるその独自の現象學の立場に依つてのみ可能なることを説き、共同社會の本質を「全體人格に於ける個的人格の統一」として、全體主義的でありながら、尙個人の自己的存在性を保持し、更にこの人格個性説を文化全體人格に及ぼして民族國家の自己的存在性をも明らかにしたことを述べ、その思想の單なる全體主義に非ず、「世界國家」主義にも非ざることを結論せられた。

歴史哲學に於ける自然主義と理想主義……………船田三郎君

先ずバツクル、コムト、テーヌの自然主義を説明し、次に特に例をフィヒテに取つて理想主義の歴史哲學を解明、最後に唯物史觀、ヴィンデルバンド・リッケルト及びニコライ・ハルトマンの思想等に觸れつつ、歴史的時局と歴史的因果を考察し以て精神的存在の特性の一面を闡明せられた。

○昭和十一年一月二十二日(水)午後三時銀座交詢社に於て例會

宗教の發達に就いて……………向井鏐一君

宗教と社會の關聯に就いての社會學の見地より宗教の發達を見るに、宗教も社會も各、自發性を有する故にその關聯の様式、程度一義的に定らず、少くとも、原始宗教、普遍宗教(佛・基の如き)の間には大差あり。先ず原始宗教に就いてガロウエーの説を紹介せられ、本論に入つては普遍宗教の四特徴を掲げ、その各々について詳述せられた。本誌次號第十六輯に發表せらるる豫定。終つて主として佛教基督教の本質相違について二三の討論があつた。

○同二月七日(金)赤坂「幸樂」に於て哲學科卒業生送別會。午後五時より卒業論文發表、續いて晚餐會  
尙卒業論文題目は左の如し。

等値重量の權時的比較	.....	(心理學科)	林 銈 藏君
シュライエルマツヘルの美學に就いて	.....	(美學美術史料)	江口正一君
現代社會の特質	.....	(社會學科)	石井正愛君
個人主義研究序説	.....	(社會學科)	西村 讓君
政治理論と經濟理論に於ける社會的相關	.....	(社會學科)	渡邊信雄君
社會學上より觀たる文化の起源及其進展の契機	.....	(社會學科)	中川友之君
明治政府と社會學	.....	(社會學科)	山田隆良君
經營に關する社會學的考察	.....	(社會學科)	菅 谷 亮君